

NHK ニュースより

北海道大学の札幌市のキャンパスにこれまで国内で確認されていなかった毒性のある植物が生えているという情報が提供され、大学は専門家による調査を進めるとともに、植物が生えている場所の周辺を立ち入り禁止にして、近づいたり触れたりしないよう注意を呼びかけています。



北海道大学に国内未確認の毒性植物か 大学が注意呼びかけ 札幌

2025 年 6 月 25 日 16 時 45 分

北海道大学によりますと、24 日午後、札幌市北区のキャンパス内に「国内には生息していない『バイカルハナウド』とみられる植物が生えている」と情報提供がありました。

環境省などによりますと「バイカルハナウド」は西アジアが原産のセリ科の植物で、葉や茎などから出る液体が皮膚についた状態で紫外線にあたると激しい炎症などを引き起こすおそれがあるということです。

これまで国内では確認されていなかったことなどから、公的な駆除の対象となる環境省の「特定外来生物」には指定されていませんが、大学では専門家による調査を進めたいうえで対応を検討することとしています。

「バイカルハナウド」とみられる植物が生えている場所は、学生や観光客なども通る道路沿いの草むらのため、大学は周辺を立ち入り禁止にして、見かけても近づいたり触れたりしないよう注意を呼びかけています。